

## 令和7年度第1回地域連携推進会議議事録

日 時：令和7年3月13日（木） 15：00～16：30

場 所：社会福祉法人芳春会 グループホーム エール I・II棟

### 1. 開会

あいさつ冒頭この会開催の目的と参加者への感謝を述べる。

### 2. 出席者紹介

和歌山市 市民自治振興課 安原支所所長

和歌山市民生委員・児童委員 安原地区

エール家族会 会長

エール家族会 副会長

エール自治会 会長

エール自治会 副会長

### 3. 議 題

地域連携推進会議の概要及び目的

#### ● 地域連携推進会議の概要

会議は地域の関係者を含めた外部の目を入れることで、サービスの質の低下や虐待を防ぐことを目的としている旨を岩淵（以下「管理者」）が出席者に対し説明した。

#### ● 社会福祉法人芳春会及びグループホームエールの概要

芳春会の法人、事業所について説明を行う。生活介護事業、就労継続支援B型事業、計画相談支援事業所、共同生活援助事業の4つのサービスを展開。

今後地域連携としては、丸昌グループとして一旦中止になった「夏祭り」に変わり「秋祭り」の開催を予定している。地域の人々に参加してもらうことで、地域との関係を深めることを目指している。

#### ● 令和7年度（令和8年1月まで）決算状況説明

利用者の平均利用料金を57,600円に設定し、障害年金の範囲内で運営を行っているが、水道光熱費の上昇により運営が厳しい状況にある。理事長は利用料の値上げを認めない方針。

施設の定員を増やすために新しい建屋を建設し、現在は50名の定員で運営している。新しい利用者も増えている。

不正請求をしていた事業所の後を引き継ぎ、新規事業所を立ち上げた。グループホームの建設も進めている。

建物等の減価償却を加味すれば運営は赤字だが、法人全体では黒字を維持している。人件費や光熱費の高騰が課題。

## 結論

1. 赤字が出ても現状のまま運営を続ける方針。
2. 施設の運営は順調に進んでいる。
4. 法人全体としては黒字を維持しているが、今後のコスト増が懸念。

### ● 事故報告とヒヤリハット

令和7年度の事故報告とヒヤリハットのまとめについて説明。職員が報告した事故やヒヤリハット事例を取りまとめ、利用者の特性に応じた対応が必要とされる。

### ● 令和7年度（令和8年1月まで）活動報告

祝日や季節ごとのレクリエーション活動について説明。家族との懇親会や夏のイベント、クリスマスパーティーなどが行われている。

訪問歯科受診や訪問看護による健康管理について説明。定期的な健康チェックとアドバイスが行われている。

年に2回の避難訓練の実施について説明。火事や地震を想定した訓練が行われている。

1. 大きな事故につながらないよう、職員が注意を払い、声かけを行うことが重要。
2. 利用者が季節を感じられるような行事を取り入れることが重要。
3. 実際に訓練を行うことで課題が明らかになり、今後の改善が必要。

令和の流れに沿ったイベントを企画し、実践することが重要であると強調された。温泉旅行などの活動を通じて、利用者が閉鎖的にならずに楽しめる環境を提供することが目指されている。

### ● 意見交換、質疑応答

利用者が自立して生活できるように支援することが重要であると議論された。

職員の採用が難航している現状が報告され、体制の強化が必要であると議論された。

## 結論

1. 今後も令和8年度に向けて様々な企画を実施していくことが決定された。
2. 夜間の緊急対応については、職員の協力により現状問題なく運営されている。
3. 利用者の自立を支援するために、職員は過度に介入せず、利用者の能力を信じて見守ることが推奨された。

#### 4. 施設見学と利用者の生活支援

- 施設見学と利用者の生活

参加者は施設を見学し、利用者の生活について説明を受けた。特に新しい利用者の生活や食事、歯磨きの支援について話し合われた。

- 感染症予防の重要性

感染症予防の観点から、中央競馬馬主協会の補助を受けて脱衣場に洗面台を新設した旨を説明し、見学してもらった。

- 個人の生活空間

利用者の個室について話し合われ、個性や生活の質を尊重することが重要であるとされた。

#### 写 真

